

# 全国漢文教育学会

第27回(通算57回)大会

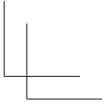
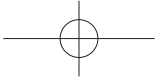
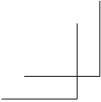
平成23年5月28日(土)・29日(日)

【第1日】 研究授業  
研究協議  
於 東京都立戸山高等学校  
史跡研修会  
於 雑司ヶ谷霊園・護国寺 等

【第2日】 研究発表  
記念講演会  
総会  
懇親会  
於 共立女子大学

〈主催〉 全国漢文教育学会

〈後援〉 文 部 科 学 省  
共立女子大学  
東京都教育委員会  
千代田区教育委員会  
全国高等学校国語教育研究連合会  
東京新聞社



---


---

会 員 各 位  
大 学 学 長 殿  
小・中・高等学校長殿  
国語科主任殿


この度の大災害により、亡くなられた方、ご遺族の方、被災された方に対して、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、来る5月28日（土）・29日（日）の2日間、本年度の大会及び総会を都心の共立女子大学において開催する運びとなりました。

28日（土）は、午前中、研究授業と研究協議を、東京都立戸山高校にて行います。また午後の史跡研修会では、雑司ヶ谷霊園から大塚先儒墓所を巡り護国寺を参観いたします。



29日（日）は、午前中、研究発表を共立女子大学において、小・中・高校の部と大学の部とに分かれて行います。午後は、金文京先生（京都大学人文科学研究所教授）の特別講演を予定しています。また、引き続き今年度の総会を致します。その後、恒例の懇親会を共立女子大学本館4F学生食堂において催します。



以上のような次第ですので、何卒奮ってご参集下さいますようお願い申し上げます。

平成23年4月9日

全国漢文教育学会会長 石川 忠久  
第27回大会準備会代表 宇野 直人



---

---

## 「大会要項」

### 1. 期日

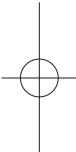
平成 23 年 5 月 28 日 (土)・29 日 (日)

#### 第 1 日 (5 月 28 日)      第 2 日 (5 月 29 日)

研究授業	研究発表
研究協議	特別講演会
史跡研修会	総会
	懇親会


### 2. 会場

○研究授業	} 東京都立戸山高等学校
○研究協議	
○史跡研修会	— 雑司ヶ谷霊園・大塚先儒墓所・護国寺
○研究発表	} 共立女子大学
○特別講演会	
○総会	
○懇親会	



東京都立戸山高等学校  
〒 162-0052 東京都新宿区戸山 3-19-1  
TEL 03-3202-4301

共立女子大学  
〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-27  
TEL：宇野直人研究室 03-3237-1912



### 3. 主催

全国漢文教育学会

### 4. 後援

文部科学省・共立女子大学・東京都教育委員会  
千代田区教育委員会・全国高等学校国語教育研究連合会  
東京新聞社

### 5. 申込み・問合せ

全国漢文教育学会  
〒 113-0034 東京都文京区湯島 1-4-25 湯島聖堂内  
TEL 03-3251-4606 FAX 03-3251-4853

### 6. 大会準備会

共立女子大学 宇野 直人 TEL 03-3237-1912 (宇野研究室)  
03-3237-2505 (国際学部助手室)

## 7. 日程

### 【第1日】5月28日(土)

#### ◇研究授業(9:30～10:20)

会場：東京都立戸山高等学校

受付 9:00～

場所：1F 講義室

授業者：渡辺 恭子教諭

対象生徒：第2学年(40名)

内容：「孟母断機」(列女伝より)

教科書：明治書院『新精選古典』

#### ◇研究協議(10:30～11:20) 場所：研究授業会場と同じ

助言指導：謡口 明(文教大学)

司会：菊地 隆雄(前東京都立小石川中等教育学校)

#### ◇史跡研修会(集合時間13:30)

集合場所：霊園内管理事務所前

説明者：渡辺 雅之(筑波大学附属高等学校)

研修ルート：雑司ヶ谷霊園→大塚先儒墓所→護国寺

(現地解散)

### 【第2日】5月29日(日)

#### ◇会場：共立女子大学 本館

受付：9:00～10:00

#### ◇開会式(9:45～10:00) 場所：本館B101教室

司会進行：渡辺 雅之(筑波大学附属高等学校)

開会の辞：大地 武雄(二松學舎大学)

挨拶：大会準備会代表 宇野 直人

(共立女子大学)

：共立女子大学学長 入江 和生

：全国漢文教育学会会長 石川 忠久

(元二松學舎大学学長)

#### ◇研究発表(10:00～12:00)

##### 〈小・中・高の部〉(B102教室)

(1)「中国古典の知恵に学ぶ」

常磐 佳子(千代田区立九段中等教育学校教諭)

(2)「中学1年における漢文導入実践報告」

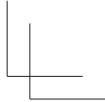
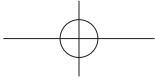
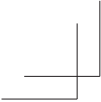
金井圭太郎(共立女子中学高等学校教諭)

(3)「現代と関連させる漢文教材」

渡辺 雅之(筑波大学附属高等学校教諭)

司会：塚田 勝郎(筑波大学附属高等学校)

※各会場については、5～7ページの案内図をご参照下さい。



---

---



〈大学の部〉(B105 教室)

- (1)「漢文教員<sup>の</sup>養成」  
石川 正人(都留文科大学講師)
  - (2)「アジア<sup>の</sup>辺境国家の歌表記」  
～中国雲南省白族<sup>を</sup>を具体例として～  
遠藤耕太郎(共立女子大学准教授)
  - (3)「李商隱と詩を読む女性たち」  
詹 滿江(杏林大学教授)
- 司会：佐藤 正光(東京学芸大学)

◇記念写真撮影(12:10～12:20)  
場所：本館1F エントランス前

◇昼食(一般)(12:20～13:10)  
場所：本館1F 108 教室

◇全国理事・評議員会(12:20～13:10)  
場所：本館1F 103 教室



◇特別講演(14:00～16:00)  
場 所：B101 教室  
題 目：「東アジアの漢文訓読」  
講 師：金 文京(京都大学人文科学研究所教授)  
司 会：田口 暢穂(鶴見大学)

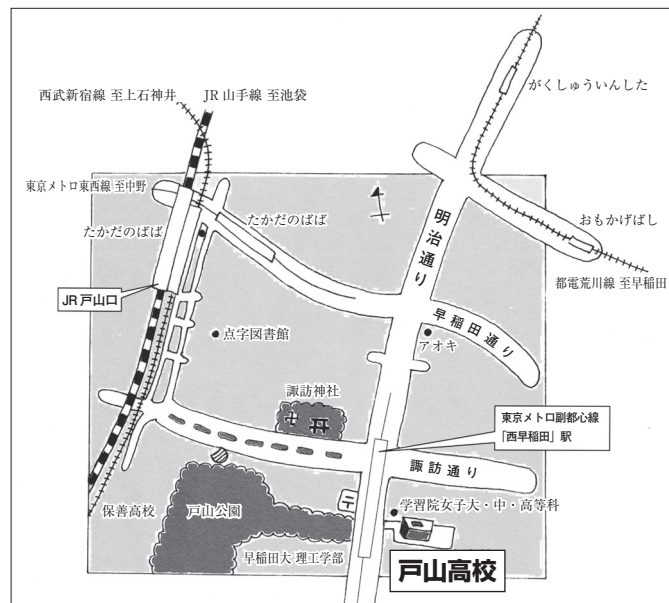
◇総会・閉会式(16:10～17:00)  
会 場：B101 教室  
閉会の辞：謡口 明(文教大学)

◇懇親会(17:00～19:00)  
会 場：本館4F 学生食堂

※各会場については、5～7ページの案内図をご参照下さい。

## 【会場ご案内】

### ●東京都立戸山高等学校・アクセスマップ



- ・東京メトロ副都心線「西早稲田」駅下車 徒歩…1分
- ・JR山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場」駅下車  
徒歩…戸山口を出て12分  
バス…「九段下行き」に乗り「学習院女子大学前」下車すぐ(5分)
- ・都営地下鉄大江戸線「東新宿」駅下車 徒歩…13分

## 史跡研修先ガイドンス

### 雑司ヶ谷霊園

東京都豊島区にある東京都立の霊園。ジョン万次郎、小泉八雲、夏目漱石、島村抱月、竹久夢二、泉鏡花、東条英機、永井荷風、サトウハチローなど著名人の墓が多くあり、夏目漱石の『こころ』の舞台としても有名である。

#### ●雑司ヶ谷霊園 アクセス

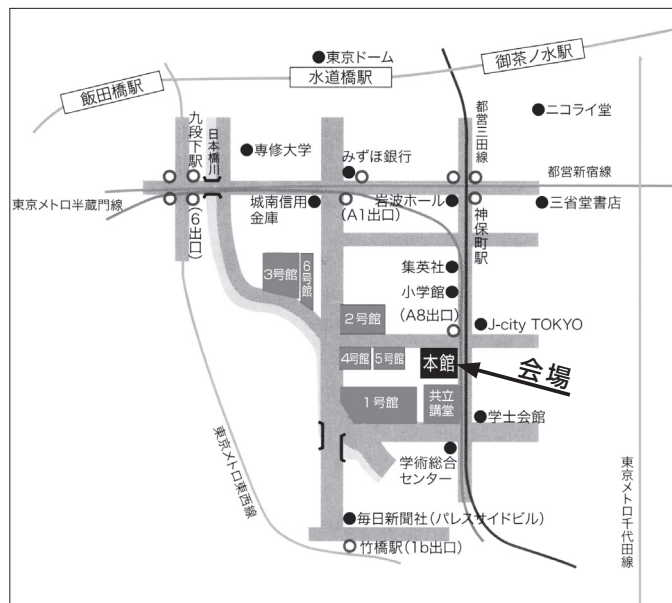
〒171-0022 豊島区南池袋4-25-1

東京メトロ有楽町線「東池袋駅」下車 徒歩10分

東京メトロ副都心線「雑司ヶ谷駅」下車 徒歩10分

JR大塚駅前から都電荒川線、「雑司ヶ谷」下車 徒歩5分

●共立女子大学 キャンパス周辺地図



- ・東京メトロ東西線「竹橋」駅下車 1b 出口より、徒歩 3 分
- ・東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」駅下車 A8 出口前、徒歩 4 分
- ・東京メトロ東西線・半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車 6 出口より、徒歩 5 分

**大塚先儒墓所**

東京都文京区にある国の史跡に指定されている墓地。江戸時代の儒学者が儒教式でまつられている。寛政の三博士といわれる古賀精理、尾藤二洲らをはじめ木下順庵、室鳩巢らの墓がある。

**護国寺**

東京都文京区大塚にある真言宗豊山派の寺。徳川綱吉の母、桂昌院の発願により創建された。江戸三十三箇所観音霊場の第 13 番札所である。三条実美、大隈重信、山県有朋、団琢磨、コンドル、中村天風、梶原一騎、大山倍達らの著名人の墓がある。

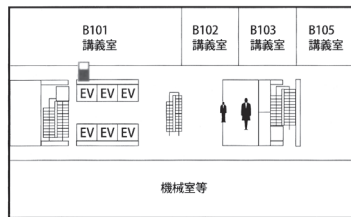
※戸山高校から雑司ヶ谷霊園へは……

- 東京メトロ副都心線西早稲田駅 (戸山高校から徒歩 3 分) から次の雑司ヶ谷駅下車。徒歩 10 分
- タクシーで約 15 分

●共立女子大学 校舎内案内図

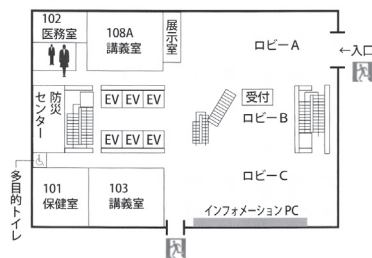
本館

B1F



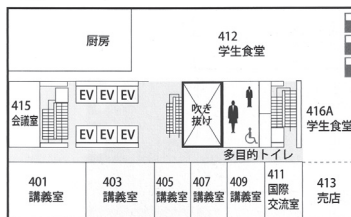
- 《開会式、特別講演、総会・閉会式》
- ・ B1F B101 教室
- 《研究発表（小・中・高の部）》
- ・ B1F B102 教室
- 《研究発表（大学の部）》
- ・ B1F B105 教室

1F



- 《昼食（一般）》
- ・ 1F 108 教室
- 《全国理事・評議員会》
- ・ 1F 103 教室

4F



- 《懇親会》
- ・ 4F 学生食堂





---

---

**【懇親会場】**

会場：共立女子大学 4階学生食堂  
会費：5,000円

**【参加申込みについて】**

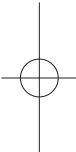
◎参加申し込みについては、会場の都合により、締め切り日厳守の上、同封の払込取扱票（振込通知書）にてお願いいたします。

●申込み先：全国漢文教育学会事務局  
〒113-0034 東京都文京区湯島1-4-25 湯島聖堂内  
TEL 03-3251-4606 FAX 03-3251-4853


●諸費用

5月28日（土）	史跡研修会費	無料
5月29日（日）	大会参加費	2,000円
	昼食代	1,000円
	写真代	500円
	懇親会費	5,000円

●申込締切 **5月13日（金）** ※厳守して下さい。



**〈その他〉**

- ・会員以外の方は、大会参加費2,000円を一般受付にてお支払いの上ご参加下さい。
  - ・学生（会員・非会員）の大会参加費は1,000円です。
  - ・研究授業、研究協議、特別講演会は、どなたでも無料でご参加いただけます。
  - ・両会場（戸山高校・共立女子大学）には駐車場がありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮下さい。
- 



---

---

## 【学会入会のお誘い】

### ●本学会の沿革


本学会は、その前身である「大学漢文教育研究会」を改組し、「全国漢文教育学会」として昭和59年10月に発足しました。その目的は、漢字漢文教育および漢字文化に関する諸問題を研究し、我が国の漢字漢文教育ならびに漢字文化に関する研究の充実発展を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることです。これらの目的を達成するために、次のような事業を実施しています。

- 1、大会及び総会の開催（年1回）
- 2、講演会・研究発表会の開催（随時）
- 3、会誌『新しい漢字漢文教育』の発行（年2回）
- 4、その他、本学会の目的を達成するために必要な諸事業

現在、小・中・高・大学の教員及び本学会の主旨に賛同する者800名余り（平成23年3月末日現在）で組織されている全国的組織です。



### ★会員特典（主なもの）

- ① 会誌への投稿、大会等における発表
  - ② 会誌『新しい漢字漢文教育』年2回の配布
  - ③ 講演会・研究発表会のご案内
  - ④ 漢文教育研修会受講料の割引
- 

### 【会 員】 会員の種類と会費は次の通りです。

- 通常会員（年額 5千円）
- 学生会員（年額 3千円）
- 賛助会員（年額 8千円）
- 団体会員（年額 5千円）

※ 本学会入会ご希望の方は、裏面の入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局に送付して下さい。

全国漢文教育学会ホームページアドレス  
<http://www.zenkankyo.gr.jp/>



## 【本学会編集書籍販売のおしらせ】

### ●学会誌『新しい漢字漢文教育』 研文社 (03-3292-7837)

残部僅少の創刊号を含む本学会の会誌。最新 51 号まで発刊。バックナンバー（第 25 号までの書名は『新しい漢文教育』）を随時販売しております。購入ご希望の方は本学会ホームページ <http://www.zenkankyo.gr.jp/> または学会事務局 03-3251-4606 までお問い合わせ下さい。

### ●『朗唱 漢詩漢文』第一集～第三集

東洋館出版社 (03-3253-8821)

～よみがえる日本語の響き 心に残る名詩名句七七～ 四六判 各 1,365 円

名詩名句 77 首に書き下し文と解説・背景説明を加え、切り絵・写真を添えて紹介しています。総ルビなので簡単に声に出して読めます。自分の中の日本語を豊かにし、日本語の文体やリズムを身につけることができます。

### ●『はじめてであう論語』全 3 巻 (①家族 ②友だち ③学問)

汐文社 (03-3815-8421) A 五判 各 1,500 円 + 税

小中学校での古典学習を、より充実させるための教材として論語は今、注目されています。「徳育」の観点からも、子どもたちにとってふさわしい教材になるでしょう。本シリーズは、子どもたちに伝えたいメッセージをこめた大切な章句を、原文・書き下し文・やさしい口語訳・わかりやすい具体例と共に紹介します。

### ●『声に出そうはじめての漢詩』全 3 巻

(①自然のうた ②旅のうた ③生きかたのうた)

汐文社 (03-3815-8421) AB 判 各 2,000 円 + 税

小学校高学年から読める漢詩の入門書です。「漢詩」とは何か、また、その歴史を簡単に説明し、日本人に古くから親しまれてきた 30 首のうたを紹介しています。大きな文字の書き下し文で、声に出して読みたくなり、言葉の美しさが楽しめます。

## 全国漢文教育学会入会申込書

記入日：平成 年 月 日

会員希望種別	普通会员 · 学生会員 · 賛助会員 · 団体会員 (いずれかに○を付けて下さい)		
ふりがな			
氏名	(推薦会員氏名) 有 · 無		
住所	〒 ( ) - ( ) ※郵便番号は必ずご記入ください。		
電話番号	( ) ( ) - ( )	名簿掲載	可 · 不可
e-mail	( ) @ ( )		
所属	名簿掲載 可 · 不可		
在学校・専攻 (※学年を必ず記載下さい。)	学部 · 院 年		
事務局記入欄 (この欄は事務局にて記入します)	※北・東・関・中・近・中四・九・外/通常・学生・賛助・団体 ※入会： 年 月 日 ※会費番号： _____ ※受付： 年 月 日		

(送付先) 〒113-0034 東京都文京区湯島1-4-25 湯島聖堂内  
 TEL 03-3251-4606  
 FAX 03-3251-4853

※本学会入会ご希望の方は、下記の入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局に送付して下さい。  
 ※運営委員会において入会が承認されましたら、会誌等を送付致します。  
 ※申込記載内容・個人情報は、学会事業に関する案内等に使用するもので、それ以外には使用しません。